

提出 順番	No. 3	令和 2 年 2 月 20 日 午前・午後 8 時 45 分受領
----------	----------	-------------------------------------

令和 2 年 2 月 20 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ ㊟

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
どの子ども早期に貧困から 抜け出せる対策を	<p>平成28年国民生活基礎調査では、子どもの貧困率は13.9%、おおよそ7人に1人が「相対的な貧困」の状態にあり、平均的な所得の世帯の半分に満たない所得で生活しています。</p> <p>特に、ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%と、2世帯に1世帯となっています。母子世帯は80%以上が就業しているにもかかわらず、非正規の場合平均年間就労収入は約133万円です。</p> <p>大学等進学率は、全世帯の73.0%に比べ、生活保護世帯35.3%、ひとり親家庭58.5%となっています。親の収入が少なく十分な教育を受けられない、進学や就職のチャンスにも恵まれず、十分な収入を得られず子ども世代も貧困になる、という貧困の連鎖が生じています。</p> <p>貧困の問題は進学率にとどまらず、生活習慣や健康管理、自己肯定感など、子どもたちの成長に様々な影響を与えます。成育環境により、「頑張っても仕方がない」と、学ぶ意欲と将来への希望を失ってしまいかねません。</p> <p>しかしながら、子どもの貧困はその実態が見えにくく捉えづらい、また、必要な支援が行き届きづらいということも指摘されています。</p> <p>昨年、政府は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」を改正し、新たな「子供の貧困対策に関する大綱」を閣議決定しました。幕別町でも、一昨年「子どもの生活実態調査」が行われ、その結果を踏まえて作成された「第2期幕別町子ども・子育て支援事業計画」では「子ども</p>

の「貧困対策の推進」が基本目標の一つとして新たに据えられ、事業計画自体を「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づく市町村計画と位置づけています。

貧困世帯が一刻も早く貧困から抜け出し、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長できる町にするために、以下の点を伺います。

1 町の子どもの貧困は解決に向かっているか、以下の指標について5年間の推移は。

- ① 子どものいる生活保護世帯と子どもの数
- ② 子どものいる住民税非課税世帯と子どもの数
- ③ ひとり親世帯数と子どもの数
- ④ 児童扶養手当を受給している子どもの数
- ⑤ 就学援助利用の子どもの数

2 「子どもの生活実態調査」の結果を踏まえて、早期解決にむけて以下のことに取り組む考えは。

- ① ひとり親家庭の親の医療費の助成拡大
- ② ひとり親家庭の実態・要望調査
- ③ 低所得世帯への学校給食費の助成
- ④ 就学援助制度の丁寧な周知と、対象の拡大
- ⑤ 「学び隊」の事業の拡大
- ⑥ 事業の進行状況と課題を掌握し、毎年着実に貧困解決を推進する体制づくり